

2011年度は4月から1名増員となり3人による診療体制になった。

新入院患者数は428名で感染症28例、新生物123例、呼吸器疾患10例、消化器疾患166例、その他101例だった。そのうち174例が手術となった。

紹介患者数は153例で、うち69例が手術となった。

手術件数は前年度の170例に対し174例でほぼ変化がなかった。うち19例は、緊急手術を行った。

全麻・腰麻手術は、前年度146例から131例と減少した。

悪性新生物は前年度32例から35例と増加した。

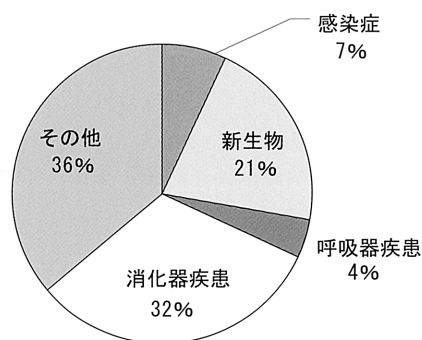
内訳は胃癌が14例で、うち腹腔鏡下胃切除術を3例行った。

大腸癌が15例で、直腸癌は3例、腹腔鏡下結腸切除術は3例だった。特筆すべき手術として、2011年度は肝胆膵領域の高難度手術である肝切除1例、膵切除2例があった。胆石・胆嚢炎では計47例手術を行い、うち腹腔鏡下胆嚢摘出手術を37例、総胆管結石に対する腹腔鏡下手術も2例あった。急性虫垂炎は8例で、うち2例に腹腔鏡下手術を行った。鼠径・

大腿ヘルニアは25例だった。

2012年度には腹腔鏡下手術システムの更新を予定しており、鏡視下手術をさらに推し進めていきたい。

入院患者の内訳



	2007		2008		2009		2010		2011	
	局麻	腰全麻	局麻	腰全麻	局麻	腰全麻	局麻	腰全麻	局麻	腰全麻
甲 状 腺				1						
皮 下 腫 瘤 摘 出	9		13		12		19		10	
IV ポ ー ト	6		4		7		2		6	
デ ン バ ー シ ャ ント					1					
そ の 他 の 局 麻 手 術					3		3		7	
A u c h i n c l o s s		4		4		2		2		3
乳 房 温 存 手 術				1				1		
胃 全 摘		3		7		3		3		3
胃 切 除		6		3		5		7		8
腹腔鏡補助下幽門側胃切除術								4		3
汎 発 性 腹 膜 炎		4				2		1		2
結 腸 切 除 術		7		5		7		12		9
低 位 前 方 切 除 術		5		4		4		3		3
腹 会 陰 式 直 腸 切 断						1				
腹腔鏡補助下結腸切除術		1		1		2				3
イ レ ウ ス		7		7		8		3		3
虫 垂 炎		11		11		8		9		6(2)
痔 疾		4		2		2		1		
肝 切 除		1								1
開 腹 胆 摘		3		9		4				6
腹腔鏡下胆嚢摘出術		38		33		36		43		37
鼠 径 ・ 大 腿 ヘル ニ ア		19		26		24		36		25
そ の 他 の ヘル ニ ア		6		5		6		2		5
そ の 他 の 手 術	2	6	2	8		15		19		6
膵 頭 十 二 指 腸 切 除										1
総胆管結石摘出（鏡視下）										2(2)
膵 体 尾 部 切 除										1
合 計	17	125	19	127	23	129	24	146	23	131

()は緊急手術数